

授業の概要

成長・発育を基盤とする歯科学である小児歯科学について基礎知識を学び、成人の歯科学・歯科技工学との相違を理解する。前期では、顎・顔面の発育、歯列・咬合の変化に関する基礎事項を理解する。

- 教科書：最新歯科技工士教本 小児歯科技工学（医歯薬出版）
- 授業時間：金曜日 18：50～19：35
- オフィスアワー：武井 浩樹 (takei.hiroki@nihon-u.ac.jp) 金曜日 17：00～18：00
- 成績評価：前期：定期試験の成績（45%）、平常試験（5%）
後期：定期試験の成績（45%）、平常試験（5%）
で評価する。平常試験後に解説を行いフィードバックする。
- 注意事項：事前に教科書を熟読し予習をすること。
- 授業方法：講義形式，第15回に平常試験と解説を行う。
- 準備学習：事前に教科書で講義項目を確認しておくこと。
- 準備学習時間：講義時間と同等の時間の予習と復習を各自で行うこと。
- 実務経験：武井 浩樹：現在，在職している日本大学歯学部附属歯科病院の経験を基に歯科医師の立場から小児期の歯冠修復ならびに咬合誘導装置を製作させるためには，本教科で学ぶ内容の理論がいかに実際に活かされるかについて理解できるよう講義していく。

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
第1回4月12日 武井 浩樹	1. 小児歯科技工学概論 2. 小児歯科治療の概説 (教) pp. 1-5	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度歯科技工士国家試験問題に解答し，内容の理解度を深めることができる。 ・小児歯科とはどのようなものなのかを説明できる。 ・乳歯列期・混合歯列期における治療の特徴と小児歯科技工学との関連を説明できる。
第2回4月19日 武井 浩樹	3. 歯・顎・顔面の成長発育（1） (教) pp. 6-33	<ul style="list-style-type: none"> ・発育期の分類を列挙できる。 ・小児の成長発育の特徴を説明できる。 ・生理的年齢を説明できる。 ・歯齢を説明できる。
第3回4月26日 武井 浩樹	3. 歯・顎・顔面の成長発育（2） (教) pp. 6-33	<ul style="list-style-type: none"> ・顎，顔面，特に脳頭蓋，顔面頭蓋の発育の釣り合いを述べることができる。 ・上顎，下顎の成長発育の様式を説明できる。 ・乳歯，永久歯の萌出を説明できる。

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 乳歯の形態的特徴を列挙できる。
第4回5月10日 武井 浩樹	3. 歯・顎・顔面の成長発育(3) (教) pp. 6-33	<ul style="list-style-type: none"> ・ 無歯期の形態的特徴, 意味を説明できる。 ・ 乳歯萌出期の形態的特徴, 意味を説明できる。
第5回5月17日 武井 浩樹	3. 歯・顎・顔面の成長発育(4) (教) pp. 6-33	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生理的歯間空隙, ターミナルプレーンなど乳歯列期の形態的特徴, 意味を説明できる。
第6回5月24日 武井 浩樹	3. 歯・顎・顔面の成長発育(5) (教) pp. 6-33	<ul style="list-style-type: none"> ・ 乳歯から永久歯への交換様式を説明できる。 ・ ターミナルプレーンと第一大臼歯の関係を述べることができる。
第7回5月31日 武井 浩樹	3. 歯・顎・顔面の成長発育(6) (教) pp. 6-33	<ul style="list-style-type: none"> ・ 乳歯から永久歯への交換様式を説明できる。 ・ リーウェイスペースなど混合歯列の形態的特徴を説明できる。
第8回6月7日 武井 浩樹	4. 第2回～第7回まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第2回～7回の内容を総括し, 重要事項と新しい項目の理解度を確認できる。
第9回6月14日 武井 浩樹	5. 小児の歯冠修復 (教) pp. 34-37	<ul style="list-style-type: none"> ・ 乳歯冠など小児歯科特有の歯冠修復法を述べることができる。
第10回6月21日 武井 浩樹	6. 保隙装置(1) クラウンループ保隙装置 バンドループ保隙装置 ディスタルシュー保隙装置 (教) pp. 40-50	<ul style="list-style-type: none"> ・ クラウンループ保隙装置およびバンドループ保隙装置の目的, 構成, 製作方法を説明できる。 ・ ディスタルシュー保隙装置の目的と構成を説明できる。
第11回6月28日 武井 浩樹	6. 保隙装置(2) 舌側弧線型保隙装置 ナンスのホールディングアーチ 可撤保隙装置 (教) pp. 51-60	<ul style="list-style-type: none"> ・ 舌側弧線型保隙装置の目的, 構成, 製作方法を説明できる。 ・ ナンスのホールディングアーチの目的と構成を説明できる。 ・ 可撤保隙装置の目的, 構成, 製作方法を説明できる。
第12回7月5日 武井 浩樹	7. スペースリゲナー 口腔習癖除去装置 (教) pp. 61-71	<ul style="list-style-type: none"> ・ スペースリゲナーの目的, 種類を説明できる。 ・ 口腔習癖による歯列への影響, および口腔習癖除去装置を説明できる。

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
第13回7月12日 武井 浩樹	8. 咬合誘導装置に用いる維持装置 (教) pp. 72-80	<ul style="list-style-type: none"> 咬合咬合誘導装置に用いる維持装置の種類, 特徴および製作法を説明できる。
第14回7月19日 武井 浩樹	9. 第10回～第13回まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 第9回～13回の内容を総括し, 重要事項と新しい項目の理解度を確認できる。
第15回7月26日 武井 浩樹	10. 前期まとめ 11. 平常試験と解説	<ul style="list-style-type: none"> 過去の国家試験問題およびオリジナル問題を解き, 理解度を確認できる。